

6月議会が閉会（7月1日）

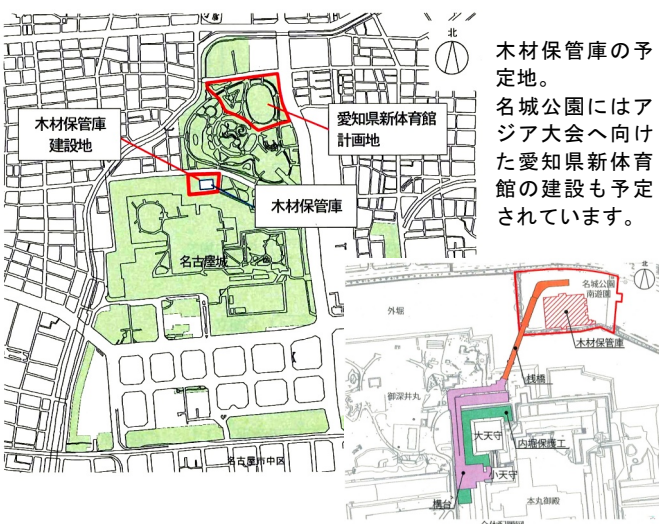
天守閣木造復元関連議案は撤回 強引な手法が通らず、「2022年末」は延期必至

7月1日に閉会した6月定例会では、2議案が撤回、1議案が再提出されました。日本共産党は人事案件3件をふくむ市長提案の16議案全てと議員派遣の計17議案に賛成。減税日本ナゴヤの議員提出議案には反対しました。

復元許可がないままの天守閣取壊し…文化審議会（文化庁）が解体許可先送り

天守閣木造復元の2022年完成へ急ぐ河村市長は、文化庁の復元許可がなかなかおりないため、まず現行の天守閣を取り壊してしまおうと解体許可申請を文化庁に出し、名古屋市議会へは、94億円（柱や梁2300本）を発注し調達した木材（3月末で725本など）を保管しておくための倉庫の設置費約3億円の補正予算案が提出されました。

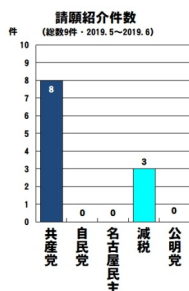
しかし名古屋市の有識者会である石垣部会が「市の対策と計画では不十分」などの意見を出し、市議会委員会でも市長のやり方に納得できない意見が続出し、文化庁の文化審議会も解体許可申請は受理したものの再調査が求められ審査を先送りされたことを踏まえ、天守閣関連議案は「撤回」されました。



木材保管庫の予定地。名城公園にはアジア大会へ向けた愛知県新体育館の建設も予定されています。

請願9件を受理

6月議会に提出された請願は9件、陳情は4件でした。日本共産党は8件の請願に紹介議員となりました。請願・陳情の審査は、6月議会が閉会してから、9月議会が始まるまでの間に閉会中の委員会審査として行われます。

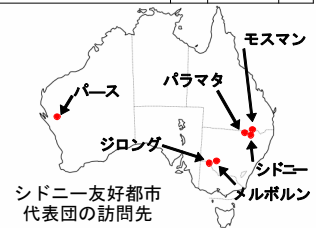


2019年6月議会の主な議案と態度 (○=賛成 ●=反対)

議案名	態度		
	共	自民公	減
天守閣木造復元に関連した2議案（名古屋城天守閣特別会計補正予算・公債特別会計補正予算）	市長が撤回		
一般会計補正予算（アジアパラ大会施設の調査・プール事故和解金）基金特別会計補正予算（財源）	○	○	○
下水道特別会計補正予算と撤回・再提出した公債特別会計補正予算（国補助の浸水対策60億円）	○	○	○
市税条例など5条例改正案（法改正に伴うもの）	○	○	○
保育料と幼稚園授業料を無償化するための2条例	○	○	○
和解・損害賠償の額の決定	○	○	○
議員提出議案（選挙の結果が民意なので、議員報酬を恒久的な制度として年額800万円にする）	●	●	○
固定資産評価審査委員（4人）と人事委員会委員（1人）の選任・人権擁護委員（9人）の推薦	○	○	○
議員派遣（シドニー市公式代表団）副議長と共と減を除く各派幹事長の4人。7月21日～29日。シドニー以外に、モスマン、パラマタ、パース、メルボルン、ジロングを訪問	○	○	○

共産提案1件含め意見書6件可決

意見書案は各会派から8件が提案され、各会派で意見調整を行い、議会運営委員会理事会で6件の意見書を議決することになりました。



シドニー友好都市代表団の訪問先

日本共産党提案の2件の意見書案のうち「本年10月からの消費税率10%への引き上げ中止を求める意見書（案）」は、民主など他会派の同意が得られませんでした。「子ども医療費助成制度の拡充等を求める意見書（案）」は民主の一部修正で可決されました。

意見書案に対する各会派の態度 2018年6月27日議会運営委員会理事会

件名	各会派の態度					結果
	共	自	民	減	公	
災害関連義援金の差し押さえ等を禁止する恒久法の制定を求める意見書（案）	○	○	○	○	○	可決
介護・障害福祉従事者の処遇及び労働環境の改善を求める意見書（案）	○	○	◎	○	○	可決
給付型奨学金制度に関する意見書（案）	○	○	◎	○	○	可決
自動車へのASV装置搭載の標準化に関する意見書（案）	●	●	◎	●	●	否決
児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書（案）	※	○	○	○	◎	可決
「労働者協同組合法（仮称）の早期制定を求める意見書（案）」	○	○	○	◎	◎	可決
本年10月からの消費税率10%への引き上げ中止を求める意見書（案）	◎	●	●	△	●	否決
子ども医療費助成制度の拡充等を求める意見書（案）	◎	△	※	△	△	可決

◎=原案提出 ○=賛成 △=保留 ●=反対 ※=修正で賛成。共：日本共産党 自：自民党 民：名古屋民主 減：減税日本ナゴヤ 公：公明党。